

高速バス利用者のための駐車場の整備並びに バスターミナルの建設について（継続）

現在、J R 桐生駅南口からは、1日につき名古屋・奈良・京都・大阪行き2往復、成田空港行き5往復、羽田空港行き4往復、仙台行き1往復の合計12往復の高速バスが運行されており、桐生市民の貴重な足となっておりますが、駐車スペースに限りがあることにより、利用客が他市のターミナルから乗車しているのが実状であります。

利用客の利便性を図ると同時に利用者の増加にもつながることから次の通り要望いたします。

- ① J R 桐生駅付近に高速バス利用者のための駐車場を早急に整備。
- ② 市内のバス運行ルート上にバスターミナルの建設を検討。
- ③ J R 桐生駅南口からの乗車者に対する駐車料金の助成。

桐生市からの回答

高速バスの停留所があるJ R 桐生駅周辺の駐車場は、北口に42台駐車可能な駅駐車場（1,000円/日）、南口に39台駐車可能な民間のコインパーキング（600円/日）の他、民間が設置している駐車場が複数あり、駅周辺駐車場が満車となることは通常ない状況ですが、高速バス利用者専用の駐車場ではないため、利用者の利便性向上を図るためにも、専用の駐車場を確保することは課題の一つであると考えられます。

バスターミナルの建設につきましては、既存のJ R 桐生駅南口停留所は鉄道とおりひめバスの結節点であり、タクシーの待機所も整備されていることや、トイレやアーケードなど周辺施設の環境と人の流れの面からもバスの拠点として定着しているところですが、市内の他の運行ルート上への建設は、交通拠点となる場所の見極めや、駐車場用途となる広大な用地の確保と建設整備費などに大きな課題があり、また、高速バス利用に対する整備・支援は、鉄道利用の促進も考慮した総合的な視点から考える必要があるものと捉えております。

こうしたことから、高速バスの利用状況、それぞれの対策による費用対効果などを検証するとともに、現在、新型コロナウイルス感染症の影響により高速バスの大部分が運休となっている状況から、アフターコロナの情勢も見据えながら、調査・研究してまいりたいと考えております。

[回答担当] 共創企画部広域連携推進室広域連携推進担当